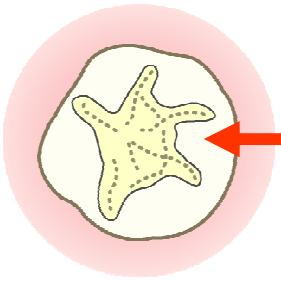
2012．5月号

本康歯科ニュース

「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！！

先日、朝の情報番組にて最新の歯科治療と題して“削らずに虫歯を治す”を特集していました。
その治療方法はシーラントを使用した保険も利用できる(年齢制限あり)治療でした。
簡単に紹介します。

この治療はあくまでも大きな穴が空く前に行う治療ですので誤解のないようにお願いします。



溝をシーラントで埋めてむし歯を防ぎます

奥歯はかみ合う面に細かい溝があり、ここに食べカスやプラークがたまってむし歯になります。そこであらかじめ溝をフッ素配合のシーラントと言うプラスチックで埋める処置をします。生えて間もない奥歯は、奥に生えてきて、歯みがきが十分にしにくく、しかも歯自体もまだまだ弱く、たいへんむし歯になりやすい歯です。そのため、むし歯から守るためにシーラント処置が行われます。しかし、シーラント処置は、長い間にはがれてしまいます。定期検診で必ずチェックし、はがれたときは処置をやり直しておきます。むし歯の予防は、シーラント処置だけでは十分ではありません。生活習慣を正すことや毎日のブラッシング、歯科医院での定期チェックなどが必要です。日常のお手入れ時にもフッ素を活用するなど、ご家庭でも積極的な予防に努めてください。虫歯になる危険の高い」お子様は、はえたての歯に対して、１年間は月に１度のペースでフッ素塗布を受けてください。特に１歳時に乳歯がはえてから、永久歯のはえそろう中学生までは続けて下さい。歯は１度削ったりすると、将来なくなる可能性が高くなります。
以上当院でも受けられるテレビにて報道された最新の歯科治療の案内でした。

あなたも“歯科通”になれる…!?
歯医者が出題する“歯とお口のクイズ”

「お菓子ばかり食べているとむし歯になっちゃうよ～」と子どもの頃よく言われませんでしたか？　たしかに、砂糖入りの甘いお菓子はむし歯の原因になってしまいますが、ただし、甘い食べ物だけではむし歯にはなりません。

実は、歯のすき間や溝に残ったままの“食べカス”と、お口の中の“むし歯菌”がくっつくことで“酸”が出て、その酸が歯の表面を少しずつ溶かして穴があくことでむし歯になってしまうのです。　さて、ここでこんな問題を出題！

問題　食べカスとくっつくことで酸を出してむし歯を作る“むし歯菌”の名前は次のうちどれでしょう？

① ミュータンス菌　② サルモネラ菌　③ ピロリ菌　④ レジオネラ菌